



3学期&オリンピックイヤーが スタートしました!



あけましておめでとございます。今年もよろしくお願ひします。

3学期は、短い学期です。イク1月、ニゲル2月、サル3月を有意義に過ごすためには、準備が必要です。サッカー選手の本田圭佑選手がよく使っている言葉です。何かを成し遂げるためにも何をどう準備するかが大切です。イキアタリバツタリやナントナクではなく「しっかりした準備」をしましょう。子どもたちが日々の学校生活に必要な準備、親が行う子どもの自立に向かう準備、学校が行う社会性や各種教育活動の準備をしていく中身を考えたいものです。

ほめる認める勇気づける言葉のキャッチボール

対話のことです。一方的に言葉というボールを投げて受け取ってくれません。受け取る準備をしていないからです。準備をしていてもグローブをどこに構えているかよくみなければなりません。

学校では

「ハイ、ハイ」とグローブを高くしている子どもはよく指名され、褒められることも多いと考えられます。落ち着きがなかったりポーとしていたりする子どもも気になりますから、教師としてはボールを投げます。しかし大事なものはグローブを見えないところに持っていたり、時には背中の方に隠していたりする子どもです。3学期はなんとか、すべての子どものグローブを見つけ、ボールを投げ込んでいきます。

家庭では

家庭では、兄弟がいる場合はその差がないように心がけてください。しっかりしているからとか、自分で何でもできるからと思っけてはいけません。公平にボールを投げてください。小さいときには柔らかくて受けとめやすいグローブも思春期に近づくとやや固くなり受け取るには難しくなります。だからといってほおっておくとますます固くなります。親が機会を見て投げ続けることで子どものグローブの使い方はうまくなっていきます。

まちがわないで！怒る言葉、非難する言葉ではありませんよ。

このあとのスキー教室

21, 28日 **5,6年生**
〈ジュネス〉

22, 29日 **3,4年生**
〈天下森〉

20, 31日 **1,2年生**
〈五輪坂〉

雪の心配をしなければなら
ない年になりました。しかし、
準備はしっかりとしてください。
特に次の二つです。

- 1 **すべてに記名**
- 2 **自分で荷物をつめる、
自分で履ける**

いつもお願いしていますが、
なかなか徹底しません。
ご協力をお願いします。

全県大会ベスト8 おめでとう羽後MMBC

1回戦 羽後 MMBC 40vs35 飯島(秋田第4代表)
2回戦 羽後 MMBC 59vs56 上小阿仁(大館北秋第1代表)
準々決勝羽後 MMBC 28vs39 中仙ミラーズ(大仙第2代表)

これまでの集大成となる大事な大会
でした。湯沢雄勝の代表として出場し
た女子ミニバスケットスポ少の皆さん
は、これまでの練習の成果を十分に出
し切り、逆転、接戦、執念のプレーで
みごとベスト8になりました。個人技
もよかったです。なによりチームと
しての組織プレーが光りました。6年
生はこれまでお疲れ様でした。また、
5年生以下の皆さんは新人戦にむけて
すぐの練習だそうですので、自信を胸に
頑張ってください。



〈秋田魁新報から〉